

クラス会 (14クラス会)

全国のクラス会のご紹介です。毎年たくさんのクラス会が催され、ご寄稿いただいています。紙面の都合上、写真は1枚、原稿は800字までとさせていただきます。何卒ご協力のほどお願い致します。

① 峰化70の会 (農芸化学科 1970年卒クラス会) を開催

2017年3月7～8日、静岡県御殿場高原『時の栖』にて開催。参加者は、堤道雄先生と同級生は岩田克英、宇田靖、岡本亨、尾上洋一、木村正、小林仁、高橋克輔、野本恭之、松坂富雄、山浦卓郎、渡邊由美子の計11名。三島駅に14時集合(尾上は平塚から堤先生に同行)→シャトルバスにて御殿場高原『時の栖』へ→岩田君の出迎え。宴会まで幹事部屋での談笑、初孫(東北銘醸)の佐藤淳司君出演のBSフジ「酒旅へ、そのSAKEに逢いに行く、豊穰の地山形の銘酒」(2016年12月25日放送、市村利江さん録画)の鑑賞、温泉つかり、ホテル周辺散策など。宴会では、物故者への黙とう後、懇談。野本君製作のおちょこが参加者一人一人にプレゼントされ、それで乾杯。素敵な品のあるおちょこです。ありがとうございました。大事に使います。堤先生も大変お元気で、皆の話をニコニコしながらうなずいて聞いておられました。渡邊さんからは水戸の梅のお菓子を、これまた一人一人に頂きました。ありがとうございました。

堤先生と小林君は宴会後の日帰りでした。宴会後、幹事部屋では、小椋先生の生化学の単位を取るのに苦労した話、誰がどの講座所属だったかとか、ゼミでの英語の購読や生協のラーメン35円などいろいろな話が出ました。深夜には、同室に生息していた季節外れの虫の演奏会があって少し大変でした。

翌朝は最高の天気。紅富士が素晴らしかったが見られた早起きの方は数人。朝食後は、岩田君がチャーターしたバスで富士山の展望台、富士山測候所博物館、道の駅などを見学し、素晴らしい富士山を堪能できました。幹事の岩田君の計画のおかげで費用も安く楽しく充実した2日間でした。ありがとうございました。次回は2020年、宇都宮で開催(幹事:宇田君)です。(尾上記)



② 農芸化学科19回生 クラス会報告

平成28年11月18日に農芸化学科19回生クラス会 in 茨城を池田氏幹事で行いました。三三五水戸に集合し千波湖や偕楽園を観光し大洗の鷗松亭へ。

懇談会では5月に急逝された奈良君始め旅立たれた級友

4名に黙祷を捧げ開宴。食事会では各各方の近況報告＝健康、趣味、孫、社会貢献の話＝がメインテーマでした。

河岸を変えた二次会も会食会に勝るとも劣らぬ程の大盛り上がりでした。

翌日はめんたいパーク、おさかな市場を見学、ショッピングし昼食後解散。今年は休憩し来年5月青森八戸市で「伊藤ゆりさん」幹事で盛大に行います。古稀を祝う会も兼ねますので全員です。

出席者：阿部・飯塚・池田・伊藤ゆり(＝兵藤)・小田部・小川・糸川・児玉・金子由利子(＝林)・鈴木節子(＝五百部)・関口・高崎・中島・福島・高梨知子(＝近藤)・山田・三好・斎藤18名。

(文責：斎藤光星)



③ 農学工学科7回生 (34年卒) 同級会報告

卒業後57年が経ち全員80歳を越えた事を記念し、地元宇都宮のホテル東日本宇都宮で平成28年10月24～25日クラス会を開催した。(幹事：佐藤・寺沢)

昭和34年卒業時28名の学友は、北は北海道から西は愛知まで各地に赴任し、それぞれの地域で活躍を続けてきたが、昭和44年宇都宮を皮切りに、赴任地の学友が持ち回りで幹事を担当し、東日本で、今回を含め22回のクラス会を開催。夫人同伴が原則で、一時は卒業生を上回る程の参加者であった。

学友も、既に7名が他界し、又病欠もあったが、今回は9名と婦人6名計15名が参加。姿川寮のファイヤーストーム、天気良いのに雨降る校内寮、市内のコンパなど青春時

代の思い出等々に加え、お互いの病気の話や、挙げ句の果てにはお墓の話も出てきて、すこぶる盛会であった。

翌日全員で懐かしの宇大峰キャンパスを訪問。洋式庭園は多少変化していたが、講堂は昔のままで、更に樹木も成長し、校内も更に整備され、立派になったキャンパスに感動。ここでも57年前の恩師（安保、石橋、山田、川島先生、他）の思い出や、授業内容、清川農場での実習、五十里ダムや青木農場の見学など学生時代の話題で時を忘れ盛り上がった。その後大谷観光を行い、クラス会は最低あと3回を開催することを確認して、宇都宮駅で解散。（須藤記）今回の参加者（敬称略）

菊池・黒沢・佐藤・須藤・関口義・寺沢・（各夫妻）
伊藤・斎藤・原



4 畜産学科13回生 （昭和40年卒）in 豊後路 クラス会

2016年11月16日～17日、畜産学科13回生7名が、関門海峡を渡りクラス会初の九州開催に臨んだ。

大分県在住の河野宗太郎、神田（旧姓西田）耕一両君の幹事で、今や下関を凌駕する豊後水道名産、大分県臼杵市のフグ料理を堪能しようと言う魂胆である。

これに先立ち両君の案内で、国宝「臼杵の石仏（摩崖仏）群」を観光した。風に舞う落ち葉を踏みしめながら時空を越えて風化した千年の姿をとどめる石仏に敬虔な気持ちにさせられたものである。

県都大分市から車で南下すること約1時間、戦国の大名大友宗麟が繁栄の礎を築いた臼杵市は南蛮文化の香る城下町で歴史的遺産の宝庫でもある。漁師旅館「久楽」に陣取りフグ料理のフルコースに舌つづみを打ちながら、母校や宇都宮の街あれこれ、学友の近況・思い出など懐旧の念止まることなし。

夜は更けて入浴も忘れ、話に花が咲く…

地元幹事の河野が、「遠来の客に料理で失望はさせぬぞ」と満を持して選んだ店だけに、これでもかよばかりに続く河豚尽くしのオンパレード。満腹ならぬ満フグとなって一同大満足。特に前回のクラス会で、「次は九州の河豚が喰いたい」と渴望していた茨城の忍垂は念願成就で感激すること一入であった。

今回は常連の6名の他卒業後初参加の神田の存在が嬉しかった。街ですれ違えば決してその人とは判断出来ない程に風貌は変わっていたが、（お互い様…？）51年ぶりの再会とあらば、さも有りなんである。時の刻みを凝縮して実感させられたのである。

翌朝旭日に輝く臼杵湾を借景に清々しい朝食のあと、再

会を期して三々五々散会した。

（文責：岡田秀美）



〔注〕写真の説明

前列向かって左より

岡田秀美、神田耕一、植木保夫、浅野敏彦

後列向かって左より

忍垂紀雄、河野宗太郎、板橋正六

5 農学科第16回生 名古屋に集う クラス会

期日：平成28年11月9日～10日

農学科第16回生は毎年メンバーの出身地を巡ってクラス会をしている。幹事は出身地のメンバーが担当する。今回は愛知に住んでいる長縄と橋本が担当した。メンバーは本年29名全員（物故者1名）が70歳以上になった。そのためか予期せぬことが開会前から起こった。遠くから車で相乗りで来たのはよかったが、インターチェンジを出てから7分もあれば会場に到着できるのに1時間もかかった〇〇君達。車にはカーナビが付いていたのに…。開会後の乾杯が終わったら、△△君は抜けて病院に行った。深夜に救急車を呼ぶのも心配だから、夜間緊急病院に出掛けたとのこと。彼は2時間ほどで帰り、会食に加わった。

会食では開会から10分も経たないうちに49年前の学生時代にタイムスリップした。最近のことはなかなか思い出せないのに、49年前のことは克明に覚えている。単位が足りなくて先生に呼び出されたこと、大学祭の仮装行列で優勝したこと等々…。あつという間に時間は過ぎ去った。

翌日は歴史のかおりを感じる「徳川園」へ行き、古き徳川の時代を想うとともに、徳川家の美術品に堪能した。16回生は来年卒業50年になる。宇都宮で記念大クラス会を開催することを決め、再開を誓い合った。



〈写真〉前列左から：山辺、下山、内藤、八木

後列左から：佐藤、菊地、林、橋本、山田、長縄
（10名参加）

6 第11回農学科(昭和38年卒業) クラス会開催報告

クラス会

平成28年11月9～10日の2日間、横浜市のポートヒル横浜で第11回農学科のクラス会を開催した。クラス会は卒業後4年ごとに関東周辺で開催していたが平成26年からは毎年開催し旧交を温めている。今回は各地から級友20名が参集した。卒業後53年目で風ぼうの変わりようは隠し切れないが意気軒昂、盃を傾けながら峰ヶ丘の思い出話を語り合った。出席者の近況報告は下記の通り。(括弧内は在住県)

- ・青木 一郎(栃木県)晴耕雨読の毎日
- ・池田 昭彦(茨城県)畑を相手の毎日
- ・石原 正敏(茨城県)週3回ゴルフを楽しむ
- ・岩崎 征夫(神奈川県)写真、探鳥など楽しむ
- ・黒須 泰久(埼玉県)水稻直播試験続行中
- ・金 忠 雄(宮城県)紫黒米の改良中
- ・齋藤 一三(神奈川県)島々のブコ調査、残り3島
- ・佐々木征男(長野県)花を相手の仕事
- ・鈴木 芳江(埼玉県)級友、故計司氏夫人
- ・中村(山崎)宮子(千葉県)中村順二美術館経営
- ・奈良 眞道(東京都)趣味の写真に没頭
- ・二階堂 建(神奈川県)囲碁に興じ酒を愛する日々
- ・畠山 富治(千葉県)時には旅、囲碁を楽しむ
- ・古橋 嘉一(静岡県)現役、講演会で飛び回る
- ・三田村正敏(埼玉県)ブラックバス釣りに熱中
- ・水谷 信(埼玉県)テニス、ゴルフを楽しむ
- ・山口 祐司(栃木県)腰痛治療中も酒はOK
- ・吉田(西山)(群馬県)現役、野菜作り専業
- ・吉田 義夫(埼玉県)今年最愛の妻を亡くす
- ・渡辺 就治(千葉県)探鳥会や山歩きを楽しむ

(文責 佐々木征男)



7 農学科昭和37年卒クラス会

クラス会

平成28年11月21日から23日にかけて、農学科第10回生の同窓会を、私の出身地大分と熊本で開催致しました。遠隔地での開催のため参加者は8名と少なかったのですが、北海道や山形、岩手などからも参加してくれました。

21日は別府市の両築別邸で、22日は阿蘇のアーデンホテルで温泉を楽しむと共に、卒業後55年の時空を越えて、思い出話を花を咲かせました。

また今回の宿泊地は4月の熊本大分大地震の被災地に重なり、ささやかな復興支援になったのではないかと自負し

ています。

三浦 泰昌(農学科第10回卒)



別府の両築別邸での記念写真

(前列左から、名木橋、三浦、伊藤、尾暮、後列左から、早坂、菅家、高野、高橋)

8 林学科昭和32年卒 キリタンポに満喫!

クラス会

平成28年10月11～12日、北秋田市鷹巣「縄文の湯」で開催。昨年宇都宮で開催の際、次年度の開催地を栃木県内在住者に一任したところ、今年中嶋のいる「鷹巣」と決定の報にビックリ。理由は154年前の文久2年建築の荒家(あばらや)を是非拝見?したいとのこと。又、中嶋宅まで大館・能代空港から3分、縄文の湯は5分とアクセスもよいから。

当方、責任の重大さを痛感、詳細な時刻表(新幹線・空路等)と近くの観光地のパンフレット(世界一の太鼓・世界遺産を目指している伊勢堂岱遺跡・中嶋宅写真)を同封して発送。まさに涙ぐましい気遣いぶり。

米田・水沼・笠原・田鹿・土肥・中嶋(以上夫婦)・大野・加藤・金井・鈴木・長沼・戸嶋計18名の参加。

翌日の見学は各自の出発時刻に合わせ、遺跡とギネス公認の太鼓の2班を計画したところ、太鼓の代りに大館市花岡の「鳥瀧会館」の要望多く急遽変更。理由は肖像写真「鳥瀧隆三医博と同右一工博」(父の従兄弟)について業績等を説明したところ俄然興味?をもったようである。

隆三氏(京大名誉教授)、昭和14年ノーベル賞(医学生理学)にノミネート、日本人16番目、秋田県唯一。昭和11年から5ヶ年かけて京風の邸宅と庭園を完成。棟梁・左官・石工・庭師等を京都から招く。人夫1000名余。県の有形文化財と名勝に平成23年指定。現在、鳥瀧会館は大館市で管理。

右一氏(電気試験所長)、明治45年世界初の無線電話機発明。携帯電話の先祖と称されている。大正12年39才で夭折。余命もう少しあればノーベル賞(物理学)日本人第1号?と惜しまれている。見学後の感想、絶賛!

温泉宿の感想は料理・キリタンポ・酒・秋田美人のおもてなし共によし、二次会も盛大、温泉もよく十分満喫の様子に幹事として安堵。

帰宅第1号は広島の大野君。4時安着の電話あり、空路の便利さに驚く。遠路ご来秋の諸兄に深謝。来年度は栃木県内の予定。(文責 中嶋 忠輝)



9 農芸化学科第16回卒業会 (昭和43年3月卒) クラス会報告

2014年の台湾を別にして、クラス生が在住する都市で開催してきた我がクラス会は、昨年の開催会場（東京）において、誰もクラス生が住んでいないところで開催しよう、ということになり、2016年は高知県で開催することとなりました。

アンケートの結果、四万十川周辺より高知タウンでの開催希望が圧倒的多数でしたので、2016年11月10日、高知市内の旅館「土佐御苑」において、現地集合・現地解散で開催されました。

折角四国まで行くということで、四国漫遊のスケジュールを立てて、クラス会を旅行の前泊あるいは後泊としたクラス生も多く、旧交を温める良き機会と同時に良き旅行の機会ともなりました。

参加者は、榎本晃一、柴田武志、染谷省三、田中秀幸、箱山清夫、（以下は夫人同伴）伊東哲夫、大滝 薫、北村忠夫、清水 修、渡嘉敷義浩、橋本俊一、樋浦康一郎、高梨俊治の13名でした。

今回は、再び例年のルールにのっとり、福島県で開催の予定です。（高梨記）



10 畜51年卒40年ぶりにクラス会 クラス会

2016年11月9日、第3回宇都宮大学ホームカミングデーに合わせて畜産学科24回生が卒業後40年ぶりに宇都宮に集まった。とは言うものの卒業生26名中8名の小さな集りとなった。遠方として鹿児島から宮原、長崎から山口が駆け付けてくれた。他は近隣で茨城から渡邊、群馬から町田、埼玉から河野、地元栃木は遠藤、井上、杉田の参加であった。ホテルマイステイズにて初老の紳士然として行儀よく懇親会を行うまでは良かったが、その後近くの居酒屋での

2次会では昔風の飲み会になり、つかの間の若かりし様の時間を楽しんだ。次の日には前日の晩の記憶がなかったみたいで、2次会の会費を払ったかなとの問い合わせが数名からあった。40年の月日は長い、その間に亡くなった者1名、連絡が全く取れない者3名いる。集まった連中からでた他界した者や参加できなかった者の知限りの消息の話は、それぞれの今までの歩みの重さと深さを感じる一瞬でもあった。年齢的にはみな第二の人生の旅が始まっている。その楽しさを語り合うのがこれからクラス会、「数は少なくともまた集まろう」の言葉を掛け合い散会した。

（文責 杉田）



井上 町田 山口 河野 遠藤
宮原 杉田 渡邊

11 畜産学科第25回 クラス会 (昭和52年3月) 卒同級会報告

平成28年11月19日に宇都宮市のホテルニューイタヤにおいて卒業後初めてとなる同級会を開催しました。当日の参加者は9名でありましたが、2次会にも全員参加いただき学生時代の思い出話に花が咲き、旧交を温め合いました。

今回の同窓会に開催に至った経緯ですが、去る5月28日に宇大の生産資源科学科の吉澤緑教授の退官記念祝賀会があり、吉澤教授が育種・繁殖研究室の大学院生時代に同じ研究室に在籍しておりました荒井君、荒田君、松山君、それに私（田村）が、発起人に名を連ねる荣誉に浴し、祝賀会に出席させていただきました。

その際、卒業して40年を迎える年であり、宇大のホームカミングデー（学園祭と同時開催）に合わせ同級会を開催してはどうかとの提案があり、今回の同級会に至ったところです。第25回の卒業生は27名おりますが、昭和48年4月に入学した24名の同級生に開催の案内をしたところです。

まず、同級会の開会に当たり、栃木県出身の和田順一君が54歳と言う若さで急逝しておりますので追悼の黙とうを捧げました。その後、記念写真の撮影、近況報告、懇談に入りましたが、学生時代の色々な思い出に話しが盛り上がり、懐かしい、楽しい一時を過ごすことができたのではないかと思います。

同級生は、還暦を2～3年越えたばかりであり、現役で家業に励んでいたり定年後も第二の職場に就いたり、都合により参加できなかった方々も多かったのではないかと思いますので、またこのような企画をさせていただきますので次回の同級会には多くの参加を期待し、同級会の報告といたします。（田村 孝二 記）



〔注〕写真の説明

後列左から 洪江、荒井、渡邊、山口、荒田
前列左から 松山、田村、小森、伊藤

12 農学部林学科第12回 クラス会 (昭和39年3月) 卒業「濁り酒会」

平成28年の濁り酒会は、蔵の街、栃木市で行われました。当初10月初旬を予定していましたが、大学のホームカミングデーに合わせて、11月19日(土)～20日(日)、栃木グランドホテルにて開催されました。

19日のホームカミングデーには、雨の中でしたが5名が参加し、「学科、出会いの会」では、林学科の歌を知らないという後輩たちの前で、皆で歌ってきました。

ホテルには、栃木在住の恩師、出井利長先生も駆けつけてくださり、夫人の参加者3名を含む15名で、楽しい語らいの夕べを過ごしました。翌20日は晴天に恵まれて、歌麿館、栃木の地名の由来となった神明宮、県庁堀、山車会館等、蔵の街の散策をし、栃木名物の「いも焼きそば」の昼食をとって散会となりました。

皆後期高齢者となり、体調不良で参加者は減ってきていますが、とにかく毎年集まろうと、次回は「那須」での開催を決定し、意気はなお盛んです。(文責 井波)

出席者 出井師、小野夫妻、大崎、菊池、齋、鈴木文、角田、寺内夫妻、西村、増子、依田、井波夫妻



13 農経第38回生 クラス会 (平成2年3月卒) クラス会開催

平成16年以来13年ぶり3回目となる農業経済学科第38回生のクラス会を平成29年5月3日(木)に宇都宮のホテル丸治で開催しました。

前回、前々回に引き続きクラス担任としてお世話になった津谷好人先生をお迎えしたクラス会は、これまでで最も多い総勢21名での開催となりました。

津谷先生にご挨拶をいただいた後、一番遠方からの出席となった金谷君の乾杯の発声を皮切りに、近況の報告や学生時代の思い出話に花が咲き、あっという間ではありましたが、楽しい一時を過ごすことができました。

次回は一同が還暦を迎える10年後です。お互い元気で再会することを約束し散会しました。(山口 敏宏・記)



14 クラス会一巡の最後は東京 クラス会 (林学科13回生クラス会)

昭和40年卒林学科13回生のクラス会は、2006年の日光を始めとして各県在住者の持ち回りで開催してきたが、2017年で一巡することになった。掉尾を受け持つのは茨城県で担当は能登君。ところが会場は茨城ではなくて、なんと東京。

これには訳があって、諸般の事情から泊りでは参加できないが日帰りならという数名に配慮した由。だが、どうしても出席できないという者が数名出てしまった。健康面や家族の事情からであるが、70代半ばともなるとそれもむべなるかなと思われ、毎年出席者の固定化に如実に表れている。

2月27日(月)東京王子駅前のサンクスウェア ボーリング場に集合したのは14名。飲み食べ歓談(中味は懐旧の思い出話と近況報告)の4時間はあっという間に過ぎて2次会のカラオケへ。みな久しぶりに声を張り上げて何をか発散したあと散会した。

次回からは2巡目を始めるのか。ともかく来年は我々の「魂のふるさと宇都宮」で開催することとなった。(河口記)

【今回参加者】

五十嵐保雄、今井正夫、小沢征夫・みずえ、岡崎明、河口俊、田中康一、野田正宜、能登洋治、樋口義毅、廣瀬勝康、三井紘一、茂木勝、山口栄一

【開催経過】

2006年日光、2007年会津、2008年大阪、2009年箱根、2010年佐渡、2011年旭川、2012年カナダ西部、2013年千葉、2014年伊勢、2015年静岡、2016年ベトナム ホーチミン、2017年東京

